

## 心理相談研究創刊号によせて

京都橘大学心理臨床センターは、京都市の東端である山科大宅の地、音羽山の麓に2013年7月に開設されました。春は桜が、秋は紅葉が美しいキャンパスの中に、地域の人々に向けて開かれました。京都橘大学はその教学理念を「自立・共生・臨床の知」と掲げており、当センターもこの理念を具現化すべく、広く社会に開かれた心理相談機関として、地域の人々の心の健康に寄与することを目的としております。

当センターでは、2013年から2014年の活動について、地域の方々の心理相談を行うとともに、子育て支援事業、医療・福祉・教育等の心理臨床の隣接領域の専門職の方々を対象とした研修会、臨床心理士のための研修会等を実施し、直接的かつ間接的に地域のみなさまの心の支援を行ってまいりました。

少子高齢化がかつてないスピードで進み、職場では過重労働の負担、家庭においては老親の介護の問題など、現代社会はたくさんの課題を抱えております。女性の社会進出が奨励され、子どもたちの養育環境の整備が叫ばれていますが、子どもたちの中には保育や学校の集団への適応が難しい子どもが少なからず見受けられ、親や保育者からの相談ニーズは多々聞かれるところです。当センターでは臨床心理士教員が主となって、「パパとママの心育て広場」と銘うって、土曜に親子連れで参加していただく、子育て支援活動を展開してまいりました。子どもたちはプレイルームで遊び、父親・母親のグループは別室で養育について語り合ってもらおうという支援活動です。参加された方々は、子育てについて語り合う中から自己を見つめて振り返る機会とされて、充実した時間を体験していただいております。

また対人援助職セミナーでは、臨床心理隣接領域の専門家の方々が日々の援助活動における課題から自身の専門職ならではの葛藤や悩みについてまで、真摯な深い語り合いが持たれ、より高い専門性と深い人間性を磨かれる機会としていただいております。

臨床心理セミナーでは、臨床心理士有資格者を対象に、学内の臨床心理士教員が講師を務めて、さまざまな技法の研修を中心に専門性のブラッシュアップに役立てていただいております。

京都市の東端であることから、お隣の滋賀の方からも来室いただくケースが増えてまいりました。今後も京都から滋賀にかけて、地域のみなさまの心の支援をさせていただき、地域と共に歩み、地域から学び、臨床の知を地域へ還元する機関でありたいと願っております。

現在、当センターの相談業務は臨床心理士である教員が担当しておりますが、将来は当センターにおいて臨床心理士の後進を養成するための実習を実施したいと準備中であります。誠実で責任性ある臨床心理士の養成を目指して、目下は日々の相談業務を真摯に粛々と積み上げ、当センターの心理面接から豊かな生命力ある新しい心が誕生することを祈るばかりです。

本紀要は、当センターの相談業務を担当している臨床心理士教員の研究論文を収録しております。お目通しいただき、ご意見ご示唆をいただくことができますと、何よりの賜物です。

どうか、今後とも京都橘大学心理臨床センターにご理解ご支援賜りますようお願い申し上げます。

2015年 早春

京都橘大学心理臨床センター長

日比野 英子